



Hitotsuyama Racing

Press release - 2011. 0720 - 005

2011年7月20日

Race Report



GT3 ASIA Round-5&6 / Fuji Speedway

(2011. 7. 16-17.)

Hitotsuyama Racing

Press release - 2011. 0720 - 005

2011年7月20日

GT3 ASIA 富士ラウンド、連続5位入賞によりポイント獲得

Hitotsuyama Racing は7月16～17日、富士スピードウェイにて開催されたGT3 ASIA 第5、6ラウンドにおいて、連続5位入賞を獲得しました。

7月16日午前、真夏の日差しが照りつける猛暑の中、GT3 ASIA の予選は10分間のインターバルを挟んだ15分間の予選×2回で行われました。今回 Audi R8 LMS のステアリングを握る“ジェントルマンドライバー”小林賢二は、ポルシェ・カレラ・カップ・ジャパンをはじめ多くのマシン、レースでキャリアを積んできており、Audi R8 LMS でもその高い順応性を発揮。予選1回目では3位、2回目では2位を獲得しました。その後予選1回目でも2位につけていたポルシェ997GT3Rにペナルティが課せられたため、第5、6ラウンドともに2番手スタートと、レースに向けてチームの士気は一層高まりました。

厳しい暑さが残る15時40分、1周のフォーメーションラップの後、シグナルがグリーンに変わりローリングスタートがされました。Audi R8 LMS 小林賢二はポジションを2つ落としたものの4位で1コーナーを無事にクリア。ランボルギーニ・ガヤルドを先頭にフェラーリ458、ポルシェ997、アウディR8、フォードGTと、最新GT3マシンがテールtoノーズ、サイドbyサイドの接戦を10周以上にわたって繰り広げ、場内を沸かせます。GT3 ASIA の規定により、レース開始15～25分の間にピットインを行わなければならないため（ピット入口のライン～ピット出口のラインまでを最低85秒で通過）、15分を過ぎたあたりから各車ピットインを行い、義務を消化していきます。Audi R8 LMS 小林賢二もタイミングを見計らってピットインの義務を消化。再びコースへ戻りました。しかし、最低85秒をかけて行わなければならないピットインに対して、3秒ほど早くリリースしてしまい、82秒でピット出口のラインを通過してしまったため、Stop&Goペナルティを課せられてしまいます。

ペナルティにより一時は大きく順位を落とした Audi R8 LMS 小林賢二ですが、その後も攻めの走りを披露。最終的には5位でチェッカーを受け貴重なポイントを獲得することができました。

続く第6ラウンドは7月17日12時50分にスタート。スタートではやはり加速で勝るフェラーリ458、ポルシェ997に先行され Audi R8 LMS 小林賢二は4位でオープニングラップを終えます。路温が60度を超えるコンディションの中、第5ラウンド同様、ランボルギーニ・ガヤルドを先頭に各車激しい接近戦を展開。Audi R8 LMS 小林賢二はマシンバランスの良さやドライバーのテクニックを生かしインフィールドで果敢に前車との差を縮めるものの、ストレートではマシンパワーの差により、再び差を上げられてしまう苦しい展開に。各車ピットストップ義務を終えた後も、順位は大きく入れ替わることなく、Audi R8 LMS 小林賢二は第5ラウンド同様5位でフィニッシュ。GT3 ASIA デビューレースにおいて2ラウンド連続でポイントを獲得することができました。

今回新たな挑戦となったGT3 ASIA の舞台において、Audi R8 LMS の存在感をアピールすることができたことを、応援して下さったファンの方々、弊チームで戦うことを選んで下さった小林賢二選手、そして厳しいコンディションの中マシンをメンテナンスして下さったノバ・エンジニアリングの皆様に、心より感謝いたします。

GT3 ASIA シリーズに関しましては、8月20～21日に鈴鹿サーキットにて開催される第7、8ラウンドに濱口弘選手のドライブで引き続き参戦いたします。

変わらぬご声援、よろしくお願い申し上げます。